

令和8年3月25日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」  
第111回（通算第190回）定例会 会議録

◆日時：令和8年3月17日（火） PM7：10～8：20  
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂  
◆出席者：22名 + オンライン 7名

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：10～20：20】

19：10～ 開 会

19：10～20：00 研 修  
「マイナ救急」  
講師：田辺市消防本部 中西 悟史氏  
「119映像通報システムについて」  
講師：和歌山南広域消防指令センター  
井谷 充孝氏

20：00～20：20 質疑応答

20：20 閉 会

【研修内容】

○マイナー救急（マイナ救急）の概要と導入状況

- ・概要：マイナンバーカードに紐付けられた健康保険証情報を、救急隊がiPadで読み取り、傷病者の医療情報（通院歴、服用薬、健診結果など）を取得するシステム。
- ・目的：傷病者の情報を迅速かつ正確に把握し、救急業務の円滑化、現場滞在時間や病院選定時間の短縮、適切な応急処置を図る。

- ・導入経過:令和4年度から全国で実証検証が開始され、令和6年度には67消防本部、令和7年10月には全国の消防本部で実証事業が開始された。令和8年度から本格運用が開始される。
- ・田辺市消防本部の状況:  
9隊の救急隊で運用を開始。原則として全救急事案が対象だが、転院搬送や処置優先の場合は対象外となることがある。  
令和7年10月～令和8年1月の利用率は13.4%から25.4%で推移。
- ・利用手順:119番通報時に準備を依頼。救急隊到着後、本人の同意を得てiPadでカードを読み込む。意識不明など生命に危険がある場合は同意なしで閲覧可能。
- ・閲覧情報:閲覧できるのは「救急用サマリー」「診療薬剤情報一覧」「特定健康診査受診結果」の3点のみで、税金や年金などの個人情報閲覧できない。
- ・効果と実績:  
情報取得が困難な傷病者の医療情報を正確に把握できる。  
正確な情報提供により、かかりつけ医等への受け入れ率が96.7%と高い。  
搬送先の病院が治療の事前準備を行える。
- ・今後の展望:令和7年9月からマイナンバーカード機能のスマートフォン搭載が開始され、救急隊も令和8年4月から順次対応予定。

### ○119映像通報システム

- ・概要:通報者がスマートフォンで撮影した現場の映像を、司令センターに送信する新しい119番通報システム。
- ・導入経緯:令和6年4月から田辺市、白浜町、串本町、日高広域の4消防本部が共同で「和歌山南広域消防指令センター」を運用開始するに伴い、システムが更新された。
- ・利用方法:119番の音声通話中、司令センターが必要と判断し、通報者の同意を得た場合にのみ映像通報に切り替える。通報者のスマートフォンにSMSでURLが送信され、アプリのインストールは不要。
- ・期待される効果:  
火災や交通事故など、言葉で伝えにくい現場状況を正確に把握。  
GPS情報と映像で現場の特定精度を向上。  
映像を見ながら心臓マッサージなどの応急手当を具体的に指示したり、手当の解説動画を通報者に送信したりできる。
- ・運用実績:仮運用で山火事と交通事故の2件で利用実績あり。
- ・課題:通信料は通報者負担。スマートフォン操作に不慣れな人への対応、プライバシー、セキュリティ、通信環境の問題などが存在する。

### ○質疑応答

Q:物理的にカードが折れていたり、コピーで番号しかわからない場合は、読み取れますか?

A:ICチップの読み取りが必須となるため、カードの現物がないと情報は取得できません

Q:介護施設で個人のカードを金庫で一括管理しており、緊急時の持ち出し運用が難しいのですが

A:施設側の管理責任の懸念はありますが、可能な限り緊急時に持ち出せる運用ルールの検討やご協力をお願いしたい

Q:救急隊はACPの情報も確認できますか?

A:現在しゅとくできるのは受診歴・薬剤・健診情報のみ。しかし将来的な医療DXの進展によりそうした意思表示の連携が期待される

Q:外国人からの通報や言葉が通じない傷病者の場合はどう対処しますか?

A:指令センターでは三者通話を利用した多言語通訳サービスを導入しています。聴覚障害者等向けには事前に登録いただく「Net119」やメール・FAX通報システムを完備し、だれもがアクセスできる体制を整えている

Q:山奥など携帯の電波が届かない圏外エリアでの通報対応はどうなりますか?

A: 通常の携帯電波がないと通報は困難ですが、最新のスマホには衛星通信経由で SOS 通報ができるようになっている。技術の深化によりカバーできる範囲が広がりつつある

Q: すさみ町の病院が夜間・休日の診療を停止することによる、住民や救急隊の搬送先選定への影響が懸念される。救急安心センター事業（#7119）のエリア拡大が望まれているが、今の状況はどうか？

A: 現在田辺市と上富田町で利用できるが、白浜町などエリア拡大が検討されている

## 【意見交換】

なし

## 【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

**日時**: 令和8年4月21日（火） 午後7時～

**場所**: 田辺市医師会館 3F 大講堂

**内容**: 未定